

暗川

小島集落にある鍾乳洞・暗川の入り口は、このすぐ先の、岩肌にはめ込まれた金属製のゲートをくぐったところです。標高の高いところから流れ込む雨水の浸食によって、石灰岩の台地にはたくさんの地下泉ができており、この洞窟を流れているのもその一つです。かつて、近隣の村人たちは、洞窟の入り口にある泉に水を汲みにきていました。新年には、村人たちは「若水（young water、その年の最初の水）を汲みました。

経路

洞窟の奥行きは約 600m で、最奥部は沿岸の岩礁エリアに面しています。通路には奇岩、鍾乳石、石筍、石柱がみられます。洞窟を 100m ほど進んだところにある「暗川の滝」という落差約 10m の大きな滝は、年間を通じて安定した水流を地底の水溜りに注いでいます。滝を越えると、洞窟は海に向かって続いているものの、太ももまで水に浸かる箇所や天井の低い箇所を通るため、通路は進むのがより難しくなります。洞窟の終点は海が見える海岸の崖ですが、その先には道がないので、帰りも同じルートで戻らなければなりません。

洞窟を探検する際の注意

この洞窟は、自己責任において探検する冒険志向の方におすすめです。通路は、過去には分かりやすい標示が設置され、整備されていた時期もありますが、現在は場所によっては水没して道が分かりにくくなっています。内部には照明がないため、自前のライトおよび予備をご準備ください。